

♥ 予防接種 ※予防接種でご不明の点は、健康増進課（保健センター）にお問い合わせください。

- 各種予防接種については、「伊奈町保健事業のお知らせ」または町ホームページをご確認ください。
- 転入等で予診票をお持ちでない方は、必ず母子手帳をご持参のうえ、健康増進課（保健センター）にお越しください。
- 予防接種の際は、保護者の同伴が必要です。特別な理由で同伴できない場合は委任状が必要となりますので、健康増進課（保健センター）に取りにお越しください。



♥ 母子保健 お母さんと赤ちゃんの健康のために

場 保健センター

| 名称 | 実施日 | 内容・対象・持ち物 | 受付時間 | 備考 | |
|------------|--------------------|--|-----------------|---|--------------------------------|
| 乳児健康診査 | 4/8(金) | 対 令和3年12月生 | 13:10 ~13:50 | 申 当日直接会場へ ※対象児には個別通知します。 | |
| | 5/13(金) | 対 令和4年1月生 | | | |
| 1歳6か月児健康診査 | 4/15(金) | 対 令和2年9月生 | | | |
| | 5/20(金) | 対 令和2年10月生 | | | |
| 3歳児健康診査 | 4/12(火) | 対 平成30年11月生 | | | 持 母子手帳、 アンケート用紙、 尿、バスタオル |
| | 5/10(火) | 対 平成30年12月生 | | | |
| 乳児相談 | 4/8(金) 5/13(金) | 内 身体計測、育児全般の相談 対 1歳未満の乳児 持 母子手帳、おむつ、バスタオル | 予約制 | 申 前日まで予約受付 ※身体計測のみの方も同様 相談時間は、お問い合わせください。 | |
| 育児相談 | 4/15(金) 5/20(金) | 内 身体計測、健康・育児・栄養等の相談 対 1歳~就学前の幼児 持 母子手帳、おむつ、バスタオル | | | |
| 幼児相談 | 4/22(金) 5/27(金) | 対 発育・発達等の面で気になる方 持 母子手帳 | | | |
| 離乳食講習会 | 4/19(火) | 内 栄養士が、離乳食の進め方や作り方の指導をします。 持 母子手帳、筆記用具 | 9:50 ~10:00 | 申 予約制 | |
| フッ素塗布 | 4/20(水) | 対 1歳~就学前の幼児（希望者） 持 母子手帳、タオル ※歯の健康手帳をお持ちの方はご持参ください。 | 13:30 ~14:30 | 費 1,430円 申 当日直接会場へ ※6か月間隔で塗布します。 | |

埼玉県救急電話相談・緊急医療機関案内 (24時間365日)

大人や子どもの急な病気・けがに、看護師が電話で相談に応じ、お近くの診療可能な医療機関（精神科・歯科を除く）をご案内します。

☎ #7119 (NTTのプッシュ回線、携帯電話をご利用の場合)

☎ 824-4199 (ダイヤル回線・IP電話・PHSをご利用の場合)

※このほか、伊奈町消防本部・署 ☎ 722-8111 でも休日・夜間に診療の受けられる病院の問い合わせに応じます。

埼玉県医療機能情報提供システム 検索

医療機関や薬局の情報を検索できます。対応可能な疾患や手術実績もわかります。



埼玉県AI救急相談

AI（人工知能）を活用し、急な病気・けがの対処方法や医療機関への受診の必要性について、チャット形式のフリー入力でご相談に応じます。



- 利用者の相談内容に基づき、可能性のある症状をご案内します。
- 利用者が選択した症状の緊急度を判定します。
- 症状によっては、家庭での対処法を利用者に助言します。
- スマートフォンからの利用であれば、埼玉県救急電話相談 ☎ #7119 や119番への電話が可能です。

埼玉県AI救急相談 検索

小児の急病・けがに

●小児初期救急当番医（月~土曜日20時~22時）※休日除く

平日の夜間にお子さんの急病・けがなどが発生した場合、桶川・北本・伊奈地区の当番医が診療します。

☎ 伊奈町消防本部・署

☎ 722-8111

●小児救急電話相談

☎ #8000 (NTTのプッシュ回線、携帯電話をご利用の場合) または

☎ 833-7911 (IP電話・ひかり電話・ダイヤル回線をご利用の場合)

♥成人保健 毎日の健康のために

場 保健センター

| 名称 | 実施日 | 内容・対象 | 受付時間 | 備考 |
|----------|--------------------|---|-----------------|-------------------|
| 健康相談 | 4/20(水) 5/25(水) | 内 保健師・栄養士による血圧測定、健康・栄養相談など 対 町民の方 | 10:00 ～11:00 | 申 当日直接会場へ |
| こころの健康相談 | 4/21(木) 5/26(木) | 内 相談員と保健師が、家族関係や職場での悩みなどの相談に応じます。 対 町民の方 | 予約制 | 相談時間は、お問い合わせください。 |

+ 休日当番医

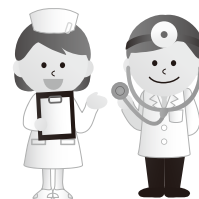
診療時間 9時～17時

| 月日 | 医療機関名 | 診療種類 | 所在地 | 電話番号 |
|-------------|-------------------|------------|-----|--------------|
| 4/3 (日) | おおつ消化器・呼吸器内科クリニック | 内/消内 | 伊奈町 | 748-5522 |
| | 埼玉県中央病院 | 内/外 | 桶川市 | 776-0022 |
| | 檜原医院 | 内/胃腸/肛門 | 北本市 | 048-542-6582 |
| 4/10 (日) | 伊奈中央病院 | 内 | 伊奈町 | 721-3022 |
| | 埼玉県中央病院 | 内/外 | 桶川市 | 776-0022 |
| | 大友外科整形外科 | 整/皮/リハ/外 | 北本市 | 048-591-7000 |
| 4/17 (日) | 伊奈病院 | 内/外 | 伊奈町 | 721-3692 |
| | ベニバナファミリークリニック | 内/小/消内/皮/外 | 桶川市 | 787-0002 |
| | 深井小児科内科医院 | 小/内 | 北本市 | 048-591-5958 |
| 4/24 (日) | いけだファミリークリニック桶川 | 内/小 | 桶川市 | 788-1167 |
| | 埼玉県中央病院 | 内/外 | 桶川市 | 776-0022 |
| | いなぎ ent クリニック | 耳/気/放/形外 | 北本市 | 048-593-4567 |
| 4/29 (祝) | ゆげクリニック | 内/循 | 桶川市 | 777-3000 |
| | 埼玉県中央病院 | 内/外 | 桶川市 | 776-0022 |
| | 桃泉園北本病院 | 内/整 | 北本市 | 048-543-1011 |
| 5/1 (日) | 伊奈病院 | 内/外 | 伊奈町 | 721-3692 |
| | 大谷記念病院 | 内 | 桶川市 | 728-2411 |
| | 桃泉園北本病院 | 内/整 | 北本市 | 048-543-1011 |
| 5/3 (祝) | 伊奈病院 | 内/外 | 伊奈町 | 721-3692 |
| | 埼玉県中央病院 | 内/外 | 桶川市 | 776-0022 |
| | 桃泉園北本病院 | 内/整 | 北本市 | 048-543-1011 |
| 5/4 (祝) | 伊奈病院 | 内/外 | 伊奈町 | 721-3692 |
| | 埼玉県中央病院 | 内/外 | 桶川市 | 776-0022 |
| | 桃泉園北本病院 | 内/整 | 北本市 | 048-543-1011 |
| 5/5 (祝) | 伊奈病院 | 内/外 | 伊奈町 | 721-3692 |
| | 埼玉県中央病院 | 内/外 | 桶川市 | 776-0022 |
| | 桃泉園北本病院 | 内/整 | 北本市 | 048-543-1011 |

※受診の際は、各医療機関にお問い合わせください。

※桶川・北本・伊奈地区で広域的に実施しています。

※広報掲載の後、当番医の変更が生じる場合があります。各新聞の埼玉版休日当番医欄もご参照のうえ、お出かけください。



健康 一回のみ

マスク皮膚炎

マスクの着用、手洗い、うがいが日常化してすでに2年以上経過しています。マスク着用に伴う皮膚のトラブルは湿疹、毛包炎、ほてりによる潮紅などがあり、今号

では皮膚炎について解説します。

まずマスクには主に不織布、布、ウレタンという3つの種類があります。感染予防の効果が高い観点から不織布の着用が推奨されていますが、ホルムアルデヒドやチメロサルといったアレルギー物質が用いられていることがわかっています。また呼吸のしやすさ、蒸れにくく使用感が良い点からウレタンを好む方も多いですが、やはり原料となるイソシアネートでアレルギー症状が報告されており、万人に使えるわけではありません。

接触皮膚炎は一次刺激性とアレルギー性に大別され、前者は原因物質の皮膚刺激による限局的なかぶれ、後者はアレルギー反応が関与するため接触部位を超えて皮膚炎の範囲が拡大する

ものです。今のところ外来診療で診るのはほとんど一次刺激性の接触皮膚炎で、マスクが当たっている鼻、頬、顎部に紅斑、かゆみ、つっぱり感、ヒリつき、フケといった症状を認めました。中でも一日8時間以上着用する方に多くみられ、オープンスペースなどで人との距離を保てる場所では、マスクを外すことも必要でしょう。もともとベースにアトピー性皮膚炎や脂漏性皮膚炎といった敏感肌の方がかぶれやすく、マスクの使い回しから皮脂、汗、ファンデーションなどが付着した状態で使い続けることは避けましょう。

また、顔に見られる皮膚トラブルがすべてマスクによるものとは限りません。両頬から鼻の頭にかけて広がる蝶形紅斑（全身性エリテマトーデス）、口腔内乾燥を伴う環状の紅斑（シェーグレン症候群）、毛細血管拡張による紅斑（酒さ）など、異なる疾患の可能性もあります。自己判断はせず、治りが悪い発疹なら専門の皮膚科でご相談ください。

〈提供：桶川北本伊奈地区医師会〉